

横浜薬科大学市民公開講座
シリーズ企画第3弾

これからの薬剤師

これからの薬剤師は、デジタルヘルス、人工知能、およびデータ解析の進化により、患者中心の医療のさらなる進化が求められています。

そこで本講座では、薬剤師がどのようにこれらの新技術を取り入れ、患者のケアに貢献していくのか、実践的な事例を提示して学びを深めていきます。

市民のみなさまの健康寿命の延伸に貢献できますことを願っております。

日時 令和7年3月22日(土)14:00~15:00

場所

ゆめが丘ソラトス 1階 ライブキッチンソラトス

住所：横浜市泉区ゆめが丘31 最寄駅：相鉄線 ゆめが丘駅

横浜市営地下鉄ブルーライン 下飯田駅

申込等

申込不要、入場無料(ただし席に制限があります)

演題

お薬手帳とポリファーマシー

超高齢化に伴い医療財政も切迫しています。お薬が処方され、入院や病院管理以外では自己管理が求められています。それによりお薬によるトラブルやお薬により引き起こされるフレイルなどが問題です。それらを防ぐためにはお薬手帳は自己管理ツールとして有用です。使い方やちょっと近年お話の出ているポリファーマシーとは？についてお知らせします。



講師：
実務実習センター
准教授 吉江文彦

【令和7年度の予定】

- ・時期が決まりましたら横浜薬科大学のホームページでご案内します。
- ・後援：神奈川県

【問合せ】

- ・☎：045-859-1315 横浜薬科大学「市民公開講座」担当
- ・✉：shimin.kouza@hamayaku.ac.jp